

特別支援教育だより

え だよ  
ほほ笑み便り

NO. 2

れいわがんねん  
令和元年7月5日  
すぎなみくりつはちなりしょうがつこう  
杉並区立八成小学校かんが  
考えやものの見方は人それぞれ「スイカの色は？」と聞かれたら何色と答えますか？

赤、緑、黒、黄色、…みなさんは何色を思い浮かべましたか？自分と違う色を答えた人に「それはおかしいよ！」と言えるでしょうか。集団で生活をしているので、考え方やものの見方が違うのは当たり前です。相手を否定するだけではなく、認めてあげができるといいかもしれません。人のことを悪く言ったり、否定したりするよりも、良いところをたくさん見付けられるといいですね。梅雨の時期なので、雨の日が多いですが、外で遊べない時にでも友達や家族と『○○の色は？ゲーム』をやってみてください。

・葉の色は？

・チョークの色は？

・鉛筆の色は？

・机の色は？

はなときしかくか  
話す時にも「視覚化」を

友達とトラブルになった、何か良くないことをしてしまったなどの場合には、子供から事情を聞き出したり、説得したり、今後どうしたらよいか正しい方法を説明したりすることがあるでしょう。しかし、耳からいくら言葉だけ入れられても、聞いている方はだんだん何がどうなのか、分からなくなってしまうものです。特に子供のうちはなおさら混乱してしまうかもしれません。

ここで有効なのが、話の『視覚化』です。

- ① 子どもが話したこと、大事なこと、伝えた  
いこと、キーワードになるものを紙などに  
書きながら（メモでOK）話をすすめる。



② 物事の因果関係や話の流れを図に示しながら話をする。